



国際会長 (IP) A. Shanavaskhan (India)

Together for a Better World

「より良い世界のために、共に」

会長 古田 和彦

副会長 秋元 美晴

書記 古賀 健一郎

会計 大高 治

直前会長 古賀 健一郎

アジア太平洋地域会長 (AP) ジョウン・ウォン (香港)

“Make a Great Impact”

「大きなインパクトを起こそう」

東日本区理事 (RD) 山田 公平 (宇都宮)

“Our Future Direction”

「ワイズの方向性を見極める」

湘南・沖縄部部長 (DG) 久保勝昭 (横浜つるみ)

「共に支え合い〜共に喜びを」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に伝えよう (パートII)」

監事 松島 美一

ブリテン 秋元 美晴

担当主事 立花 明美

<今月の聖句>

押川 沢江

「学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物としてささげた。

(マタイによる福音書 2:10-11)

始まった。翌日の夕刻には羽田空港で自衛隊機と日航が衝突し、自衛隊機全焼、幸い日航機全員の無事に世界に奇跡的というニュースが流れた。3日夕方には、北九州小倉で古い商店街が全焼という三が日だった。その後、夕方が近づくにつれ何もない日でありますように祈る日が続いた。1週間後の1月7、8、9日には、金沢、輪島、富山を訪問し、1月中旬より輪島市の避難所支援を6カ月間、金沢市の1.5次避難所を3カ月、YMCAの支援が始まった。8月には、全国のYMCAの協力で被災児童のキャンプが行われた。

今月のひとこと

2024年の幕を閉じるにあたって

田口 努



2024年の幕を閉じるにあたって、この1年を振り返ってみた。まず横浜YMCA140周年を機に長く交流を重ねてきた上海YMCAと、あらためて姉妹YMCAとして締結をした年である。ちなみに私は1984年、横浜YMCA100周年の年に結婚したので、個人的には結婚40周年の年であった。

2024年の幕開けは、災害と事故から始まった。元旦の夕方、能登半島地震が起き、「津波！避難を」のテレビ放送で1年が

世界では、パリオリンピック、パラリンピックが行われ、明るいニュースが増えてきた。そのパラリンピック競泳のメダリストである富田宇宙選手が、全国チャリティーランの委員長に今年から就任し、秋には、横浜を含む全国各地のチャリティーランに参加し富田さんの共生社会を呼びかけるメッセージに、共感の輪が広がった。しかし、9月中旬には、何と、能登地震の被災地が水害に遭い、10月から11月まで200名を超えるYMCAのボランティアを派遣するという能登の被災地と共に歩んだ1年であった。

政治面では、政治資金問題から安倍派逮捕に始まり、秋には岸田首相退陣、10月には石破氏が首相就任後の衆議院選挙で、自民党敗北、野党躍進など変化の年で、11月には、米国でトランプ氏の当選が決まり、日米や世界的に政治の大きな変化があった年となった。就任後の世界は、どのようになっていくのか、先行き不透明感が漂っている。また、ウクライナへのロシア侵攻から1000日を越え、パレスチナへのイスラエルの攻撃は、レバノン、イランと広がるなど分断と

紛争の世界が続いており、核攻撃の不安の中、今年のノーベル平和賞は、日本被団協が選ばれた。被団協は、広島YMCAの講堂で創立され、広島YMCAとの関りが深く、授賞式には、広島YMCAからも代表団として参加している。平和運動を進めてきた広島YMCAも被団協と共に受賞を喜び合いながら、核廃絶の運動を推進している。

2024年の終盤の横浜の明るい話題としては、ベ이스ターズが26年振りに、リーグ3位でありながら、クライマックスを勝ち上がり、日本一に輝いた下剋上シリーズの完結だった。早朝は、大谷翔平率いるドジャースのワールドシリーズに釘付けになり、夜は、予想外に躍するベ이스ターズの日本シリーズなど野球に沸いた秋となった。11月30日の優勝パレードに30万人が駆けつけた。私も含め近隣の高齢者が、38年前、26年前、次は生きてるうちに見られないかもと口々に言いながら喜びを分かち合ったが、もう一度生きていうちにみたいと願っている。2025年新年は平和の内に迎えられるように。

◆「今月の聖句ショートメッセージ」

導きの星を見るだけでも喜び溢れる学者達が、ついにイエスさまに出会うことができた時の喜びは言葉にならなかったことでしょう。その喜びをひれ伏すことによって、また、宝物を献げることによって現わした学者達、この箇所は、幼子イエスさまに出会うことがどれ程の喜びなのかを、改めて私達に示しているのではないのでしょうか。

<2024年11月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
11名	メ 6名 ネット 0名 コメント 0名 ビジター 1名 ゲスト 5名 合計 12名	64% (メーキャップ 1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<12月の行事予定>

キリスト教理解 IBC

日	曜	時間	行事内容	場所
12/3	火	19:00	第103回Y-YS協議会	中央Y
12/12	木	16:00	第一例会	中央Y, Zoom
12/21	土	13:30	横浜YMCA クリスマス礼拝	日本バプテ スト横浜教会

11月第一例会報告

古田 和彦

日時：11月14日（木）18：30～20：30
開催方法：中央YMCAとZoomによるハイブリッド開催
出席者：<会場>大高、古賀、佐竹、立花、古田
<Zoom>齋藤

ビジター：佐藤節子（厚木）

ゲスト YVLF参加リーダー：宮原未瑞来、鈴木周兵、紅林飛翔、浅沼和音

同引率スタッフ：柳田誠也

大高ワイズの司会で開始。古田会長により開会点鐘と挨拶があり、次いで、ワイズソングを共に歌い、ワイズの信条を唱和する。今月の聖句は古賀ワイズから「主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。」（イザヤ書2：4）が読まれ、神の求める平和について語られ、祈りがささげられた。

今月はユースヴォランティアリーダーズフォーラム(YVLF)参加リーダーの報告を聞くことがメインであるが、彼らが19:30ごろに来ることになっているので、先にビジネスを行う。①横浜中央YMCA ウェルカムフェスタの準備・当日については、前日22日の13:00～17:00に会場準備、値付け作業を行うこと、23日当日は売り子として活動することを確認。メネットを含めクラブを挙げて協力することとした。②12月から3月までの例会については、提案通りに進めていくこととした。③ブリテン12月号の内容、執筆者の確認をした。④部名を「かながわ部」とすることに、検討委員会でまとまり、11/30評議会に提案することとなった(部則の変更)。⑤11/24新クラブ「大和クリエイティブYサービスクラブ」のチャーターナイトには、古賀、古田ワイズが参加、お祝いを持参することとした。⑥区から要請のある「サポートファンド献金」について協議、クラブとして2万円を献金する。など話し合った。

19:30、上記のユースリーダー、引率の柳田スタッフが来場、パワーポイントにより、9月6-8日、山中湖センターで開催されたYVLFの報告をした。内容は、当クラブブリテン10月号に古賀ワイズが詳細に記されている通り。それに加えて、4人のリーダーからリーダー活動の内容とその学び、今回のフォーラム参加による自己の成長や学びと今後のリーダー活動等への展開についてそれぞれ抱負を聞いた。4人とも一段とYMCAリーダー活動への意欲が高まっている様子が感じられた。今後の活動に期待する。また、柳田スタッフからは、次年度のYVLFの担当が横浜YMCAとなっており、一段と協力してほしいとの要請があった。

定刻古田会長の点鐘で閉会した。なお、そのうち、4人のリーダーとともに、軽い食事をとりながら懇談した。こちらも楽しかった。



YVLF参加の4人とともに

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

横浜中央 YMCA のウエルカムフェスタ報告

大高 治

恒例のウエルカムフェスタは勤労感謝の日、その昔の新嘗祭に当たる11月23日、収穫を祝い、神に感謝する日に取り行われております。YMCAビル1Fから8Fまでの数々の催しがありました。子供たちの作品の披露、新しいポッチャの紹介、インターナショナルな食べ物を通しての交流、寄付された衣類や手工芸品の販売、そしてその売上げが国際・地域協力募金として支援を必要としている国内外の人々に活用されて行く。嗜好は異なるが、収穫を祝い、物を大事に使って行くのはSDGsの一環を成しているようです。

当日の成果は、バザーの売上は105,390円、全館の売上は53万円で、目標の50万円を達成したとのこと。同種のバザーを経験したことのある応援者は、「3桁(百円代)の商品で10万円越えは凄い」と言う。

1, 準備作業

6Fの最も大きな会場で活動した私たち、横浜ワイズメンズクラブのメンバーは、前日の22日(金)13時から17時過ぎまで、販売品の整理、陳列の工夫、値付けに励みしました。

- ・今年には子供用品と一般成人用を分けた販売を試みました。分かり易かったようです。
- ・参加者は、大高、古賀メン・メネット、古田メン・メネットの他富山様、高寺様、稗田様等の応援者があり、計12~3名でした。

2, 販売の当日23日(土)

- ・参加者は、大高メン・メネット、古賀メン・メネット、古田メン・メネット、田口ワイズの他、YMCAの職員、留学生で16名が力を合わせて努めました。
- ・前日からのYMCAのバザーの責任者、諏訪様の指揮の下、運営は順調に進みました。各位自分の好みと力量に応じた配置で活動されたのです。
- ・例年のことながら、10時の開始を待ちきれず、会場に突進してくるようなお客様がいましたが、阻止出来ました。再販を意図しているような方々と思われます。混雑は11時頃までで、今年も上手く行ったと思います



6Fバザー会場の賑わい①



6Fバザー会場の賑わい②

3, 他のフロアーの状況

- ① 8Fの学生レストラン
 - ・今年にはベトナム料理を中心にいろんな料理が提供されました。
 - ・豆乳ベースのパンケーキは「ハオツー(好吃)美味しい」と、YMCAオリジナルとの誉め言葉に皆で大笑い。その他、パイナップルケーキや水餃子もあり、南北の留学生が頑張った証拠と言えましょう。
- ② 7Fではポッチャの体験が出来、ボールを投げるところは、オリンピックのように1カ所ではありません。ビンゴゲームあり、好きな絵の上を目標にするなど好みに応じて楽しめそうです。
- ③ また5Fには子供や学童のゲームに、子供の作品も展示されておりました。YMCAを好きになる子供の裾野が広がって行くようです。



ポッチャ

子供たちの作品



1Fでも販売

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

④ その他の学生さんの活躍は以下の写真をご覧ください。



大和クリエイティブYサービスクラブ チャーターナイト報告

古田 和彦

○日 時 2024年11月24日(土) 13:00~15:30
○会 場 大和市 北京飯店
○出席者 約80名 内横浜クラブ5名(古賀、佐竹、田口、立花、古田)

9月14日に設立総会を行い、準備を進めてきた湘南・沖縄部7つ目となるクラブ「大和クリエイティブYサービスクラブ」のチャーターナイトが上記の日時、場所、参加者で行われた。嬉しいことで、大いに喜び合った。以下、主なことを記す。

第1部 国際協会加盟認証状伝達式

1. 発足クラブ会長、小松伸史ワイズにより開会点鐘が行われた。
2. 一同でワイズソングを歌った。
3. スポンサーは湘南・沖縄部であるので、同部久保勝昭部長がスポンサー挨拶を行った。
4. 来賓(大和市長、座間市長)、YMCA(各クラブ担当主事、大和・厚木関係スタッフ)、山田公平理事他東日本区役員が紹介された。
5. 小松会長から設立経過報告がなされた。概要次の通り。
 - ・2023年夏以降、ミュージカルに特化したクラブづくりを目指したが、ミュージカルはそれ自身で活動することとし、別途、新クラブを模索した。
 - ・大和商工会議所の会員を中心とするメンバーを勧誘し、2024年夏ごろには8名のメンバー候補者を得ることができ、9月14日設立総会を行った。
6. 国際協会加盟認証状伝達式
 - ・山田公平東日本区理事が入会式の式辞を朗読し、趣旨に賛同するか問うたところ、新クラブメンバー全員が、参加者の前で賛同することを誓約した。
 - ・山田理事から加盟認証状が小松会長に手交された。(クラブの正式な発足)
 - ・メンバー全員にチャーターバッジが装着された。
 - ・メンバーは次の8名である。小松伸史、渡辺伸明、宇井崇(欠席)、植木陽子、菊地節子、五十嵐俊哉、長本真穂、竹野美歩。
7. 小松会長から決意表明がなされメンバーの紹介があった。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

8. 次の方々から祝辞が述べられた。

- ・田口努日本YMCA 同盟総主事(横浜クラブ)
- ・佐竹博横浜YMCA 総主事(横浜クラブ)
- ・山田公平東日本区理事(宇都宮クラブ)
- ・久保勝昭湘南・沖縄部部長(横浜つるみクラブ)
- ・古谷田つとむ大和市長
- ・佐藤弥斗座間市長

9・小松会長の閉会点鐘で第1部は無事終了した。

第2部 祝会

開会の言葉は、新クラブ副会長の渡辺伸明ワイズ、次いで、祝辞が進藤重光東日本区会員増強主任、佐藤節子湘南・沖縄部会員増強主査、黒川勝湘南・沖縄部直前部長から述べられ、佐藤重良直前理事の乾杯により会食となった。北京飯店の中華料理を堪能した後、Creative Arts Tokyoによるミュージカルがあった。お礼の言葉が同クラブ副会長植木陽子ワイズから述べられ、一同でYMCAの歌を歌い、辻剛湘南・沖縄部監事の挨拶で閉会した。



国際協会加盟認証状の伝達

2024-2025年度湘南・沖縄部 第2回評議会報告

古田 和彦

1. 開催日時・場所
2024年11月30日(土) 15:00~17:00 於 横浜とつかYMCA1階ホール
2. 委任状を含め過半数の出席により成立
横浜(会場:古田、古賀 委任状:秋元、大高)
3. 全体司会は部書記の板崎淑子ワイズ(鎌倉)、議事の議長は久保部長
4. 議案とその採決結果
 - 第1号議案 部則改正の件(承認)
部の名称を「かながわ部」とすることに伴い、部則の名称を「湘南・沖縄部部則」から「かながわ部部則」に、また、第1条の名称を変更し、その地理的範囲は、神奈川県・沖縄県から沖縄県を除くとの提案があり全員異議なく賛成した。
 - 第2号議案 部則細則変更の件(承認)
細則に定める部長選出グループを新クラブ誕生に伴い次の通りとする。
Aグループ 横浜、鎌倉、金沢八景、大和

Bグループ 厚木 横浜つづき 横浜つるみ
第3号議案 次次期部長（2026-2027年度）候補者選任の件
（承認）

佐藤節子（さとうせつこ）ワイズ（厚木）が提示され、
全員異議なく賛成した。

第4号議案 新クラブ設立一時金の件（承認）

協議の結果、前回チャーターした横浜つるみクラブ同
様、16万円を支給する。

第5号議案 地域奉仕・Yサービス事業について（承認）

山田事業主査（金沢八景）から、次の通り部全体の合同
懇親会を開きたいとの提案があり、承認された。

- ・会場：三浦YMCAグローバルエコビレッジ
- ・日時：2025年4月12日（土）～13日（日）
- ・費用：約9300円+飲み物代

第6号議案 サポートファンド献金（東日本区支援特別献
金）の件（承認）

協議の結果、この献金はクラブ・個人に求められてい
るので、部としては献金しないこととした。

第7号議案 YMCAとワイズの新年交流会の件（承認）

次の提案があり、承認された。

- ・日時：2025年1月18日（土）18：00-20：00
- ・会場：横浜中華街「心龍」
- ・会費：5,000円

議事に続いて部長、各事業主査、各クラブ会長、YMCA担
当主事から報告・連絡を行った。最後に、辻監事の講評が
あり、17：00、久保部長の点鐘で閉会した。

それでも家族とともに食卓を囲む彼らの姿は、人間の「生き
る力」の象徴であり、見る者に希望をもたらします。
その中でも、ある少女の言葉が特に心に残っています。

「私たちはたくさんの家族をなくしました。家もなくなりま
した。なぜ、私たちから全てを奪ったの？なぜ目の前で家族
を殺したの？」

こうした悲痛な声の裏にある絶望と憎しみ。それでも彼女
は、時間が経つ中で「抵抗」の新しい形に気づきます。少し
成長した彼女の言葉です：

「祈ること、神を敬うこと、そして忍耐強くあること。私た
ちは信仰や教育を通じて抵抗できます。それは武器よりも強
い。」

彼女のこの気づきは、私たちに深い示唆を与えてくれます。
武力に武力で対抗するのではなく、教育や信仰を基盤にした
「非暴力の抵抗」の強さ。彼女の言葉には、平和への道を探
る大きな希望が込められています。特に、クリスチャンであ
り原爆被爆地長崎に生まれた私は、彼女の言葉に強い共感を
覚えました。

最後に、ノーベル文学賞受賞者スベトラナ・アレクシェ
ービッチ氏の言葉を引用したいと思います：

『時代を超えた苦しみは、常に「小さき人々」に降りかかり
ます。しかし彼らこそが、神の前で真実を証言する存在であ
り、永遠の希望を象徴する存在です。私はそのような「小さ
き人々」を信じています。彼らが繋ぐ命の鎖を断ち切らず、
共に未来を築き上げる祈りを捧げたいと思います。』

この言葉を胸に、「小さき人々」の声に耳を傾け、共に支え
合いながら平和を目指していきたいと願っています。

近況

『「小さき人々」への祈り』

古賀 健一郎

『剣を打ち直して鋤とし 槍を打ち直して鎌とする』—こ
の言葉は、ニューヨーク国連本部に掲げられた聖書のイザヤ
書2章の一節であり、平和の実現への切なる願いが込められ
ています。しかし現実には、ロシアによるウクライナ侵攻や
パレスチナのガザ地区での紛争など、平和はなお脅かされて
います。武力を手放すどころか、日本国内でも「抑止力とし
ての武力」や「核抑止の議論」といった議論が再燃し、平和
国家としての在り方が危ぶまれる状況です。このような時代
にあって、私たちには改めて平和について考え直す責任があ
ると感じています。

先日、私は東京大学YMCA 学生寮での上映会で『ぼくたち
は見た』を鑑賞し、深い感銘を受けました。このドキュメン
タリーは、2008年から09年にかけて行われたイスラエル軍
によるパレスチナ・ガザ地区への攻撃を背景に、戦争の厳し
い現実を子どもたちの目線で描いた作品です。監督の古居み
ずえ氏は、攻撃直後の現地に入り、破壊された町や犠牲者家
族を取材。映像には、たくましく生きようとする子どもたち
の姿が収められています。物資も食事も不足する日々の中、



11月第二例会報告

古賀 健一郎

日 時：11月28日（木）17:00～18:00 Zoom開催

出席者：秋元、大高、古賀、立花、古田

《今後の行事予定》

・確認した。

《協議・報告事項》

(1) 横浜中央YMCA ウェルカムフェスタ結果

《11/22 準備作業》

・大高、古賀メン・メネット、古田メン・メネット

・諏訪さんを中心に中央Y職員の方数名、横浜中央Y運営
委員富山さん、YC Jサポーター2名。約10名

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

《11/23 販売》

- ・大高メン・メネット、古賀メン・メネット、田口、古田メン・メネット
- 諏訪さん中心に中央Y職員の方数名、横浜中央Y運営委員の黄さん&浦出さん、留学生3名など約15名
- ・バザー売り上げ 105390円 全体では53万円強で目標50万円を達成

(2) 12月以降の例会

【12月】

《12/12(木)》中央Yにて

- ・日本語学科の学生で日本語スピーチコンテスト参加者のべさん(韓国)、ウィハラさん(スリランカ)との交流・親睦の時とする。
- ・16時~17時過ぎ 第一例会(上記留学生との話し合い等)
- ・17時半 懇親夕食会(留学生の食事代はクラブ負担)
- ・貴重な交流の機会であるので、幾つかテーマを決めて話し合う

【1月】

《1/18(土)》YMCA・ワイズ合同新年会(第1例会)

- ・18時~20時
- ・会場 中華街「心龍」
- ・土井夫妻、高寺さんにも呼びかける。

【2月】2/11(火・休) YMCA 会員総会(第1例会)

【3月】3/13(木) 卓話者: 兵藤芳朗ワイズ(鎌倉・次期部長)

(3) ブリテン12月号編集計画

- ・確認した、

(4) その他

- ①サポートファンドへの2万円献金を決定(11月第1例会にて)
- ②「大和クリエイティブYサービスクラブ」チャーターナイト→古賀、佐竹、田口、立花、古田参加
- ③11/30 部第2回評議会→古賀、古田会場参加 秋元、大高委任状
- ⑤ 厚木クラブ20周年記念パーティ 12/7(土)14-16時 於 厚木YMCA 会費3000円 参加者→古田、古賀
- ⑤12/3 第103回Y-Ys協議会参加者→古田



担当主事 立花 明美

11月は恒例の「ウエルカムフェスタ」を実施しました。他のイベントと重なり、多くの方が来館されました。また、能登支援へ横浜中央YMCA職員が現地に入り、地震及び豪雨による被災の片付け等を行いました。専門学校では、カレッ

ジグループ教職員研修としてハラスメントを取り上げました。来月は人権週間が始まります。

- 11月 2日(土) ECGL オンライン説明会
- 11月 8日(金) 横浜YMCAカレッジグループ教職員研修会
- 11月 9日(土) 横浜YMCA学院専門学校国際情報ビジネス科オープンキャンパス/入試
アフタースクール
横浜公園チューリップ球根植え
- 11月 11日(月) 12日 全国Y専門学校担当者会
@東京YMCA
- 11月 15日(金) ~17日 日本YMCA大会
語学事業: 坂地さん派遣 @東山荘
- 11月 15日(金) 作業療法科3年生炊き出しボランティア
- 11月 23日(金) 横浜中央YMCA ウェルカムフェスタ
- 11月 30日(土) 横浜YMCA/YWCA 合同祈禱会
横浜YMCA学院専門学校国際情報ビジネス科
オープンキャンパス/入試

12月例会プログラム

日時: 12月12日(木) 16:00~17:30

場所: 中央YMCA・オンライン

司会 古賀健一郎ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶.....古田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条.....全員
3. 今月の聖句.....押川沢江メネット
4. ゲスト・ビジター紹介.....古田会長
5. 日本語クラス留学生との懇談
べさん(韓国)、ウィハラさん(スリランカ)
6. ビジネス・報告.....古田会長
7. *Happy Birthday*
8. 閉会点鐘.....古田会長

例会報告: 古賀ワイズ

<1月の行事予定>

日	曜日	時間	行事内容	場所
18	土	18:00	YMCA・Ys 合同新年会兼 横浜クラブ第一例会	中華街 心龍
23	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花明美にご連絡ください。

メール tachibana_akemi@yokohamaymca.org
電話 045-661-0080

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★